

法人運営分野

① 理事会評議員会の開催・監査の実施	(1)理事会 理事に自治会長会会長・学識経験者、監事に税理士・元自治会長を迎え、社会福祉協議会の運営に提案をいただいた。 11月、安藤前会長の長期入院に伴い、業務執行理事の選任を行った。 12月22日に、安藤前会長に代わって、学識経験者である岡野譲治氏が会長に就任された。 ・ 任期：令和5年(6月)定時評議員会の終結の時まで <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">理事会の開催状況</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月8日(水)</td><td> ① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度一般会計決算について ③ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 評議員選任候補者の推薦について(補充選任) ⑤ 評議員会の日程と招集理由について ⑥ 監事選任候補者の推薦について ⑦ 評議員選任・解任委員の選任について </td></tr> <tr> <td>10月26日(水)</td><td> ① 臨時職員等就業規則の改正について ② 会員規程の改正について ③ 東員町による監査の報告 ④ 令和4年度事業経過報告(9月末現在) </td></tr> <tr> <td>11月25日(金)</td><td>① 業務執行理事の選任について</td></tr> <tr> <td>12月14日(水)</td><td> ① 理事選任候補者の推薦について ② 監事選任候補者の推薦について ③ 給与規程の改正について ④ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ⑤ 評議員会の日程と招集理由について </td></tr> <tr> <td>12月22日(木)</td><td>① 会長の選任について</td></tr> <tr> <td>3月15日(水)</td><td> ① 理事選任候補者の推薦について ② 評議員選任候補者の推薦について ③ 経理規程の改正について ④ 経理規程細則の改正について ⑤ 処務規程の改正について ⑥ 常勤臨時職員給与規程の改正について ⑦ 職員就業規則の改正について ⑧ 臨時職員等就業規則の改正について ⑨ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ⑩ 令和5年度事業計画(案)について </td></tr> </tbody> </table>	理事会の開催状況		6月8日(水)	① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度一般会計決算について ③ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 評議員選任候補者の推薦について(補充選任) ⑤ 評議員会の日程と招集理由について ⑥ 監事選任候補者の推薦について ⑦ 評議員選任・解任委員の選任について	10月26日(水)	① 臨時職員等就業規則の改正について ② 会員規程の改正について ③ 東員町による監査の報告 ④ 令和4年度事業経過報告(9月末現在)	11月25日(金)	① 業務執行理事の選任について	12月14日(水)	① 理事選任候補者の推薦について ② 監事選任候補者の推薦について ③ 給与規程の改正について ④ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ⑤ 評議員会の日程と招集理由について	12月22日(木)	① 会長の選任について	3月15日(水)	① 理事選任候補者の推薦について ② 評議員選任候補者の推薦について ③ 経理規程の改正について ④ 経理規程細則の改正について ⑤ 処務規程の改正について ⑥ 常勤臨時職員給与規程の改正について ⑦ 職員就業規則の改正について ⑧ 臨時職員等就業規則の改正について ⑨ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ⑩ 令和5年度事業計画(案)について
理事会の開催状況															
6月8日(水)	① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度一般会計決算について ③ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 評議員選任候補者の推薦について(補充選任) ⑤ 評議員会の日程と招集理由について ⑥ 監事選任候補者の推薦について ⑦ 評議員選任・解任委員の選任について														
10月26日(水)	① 臨時職員等就業規則の改正について ② 会員規程の改正について ③ 東員町による監査の報告 ④ 令和4年度事業経過報告(9月末現在)														
11月25日(金)	① 業務執行理事の選任について														
12月14日(水)	① 理事選任候補者の推薦について ② 監事選任候補者の推薦について ③ 給与規程の改正について ④ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ⑤ 評議員会の日程と招集理由について														
12月22日(木)	① 会長の選任について														
3月15日(水)	① 理事選任候補者の推薦について ② 評議員選任候補者の推薦について ③ 経理規程の改正について ④ 経理規程細則の改正について ⑤ 処務規程の改正について ⑥ 常勤臨時職員給与規程の改正について ⑦ 職員就業規則の改正について ⑧ 臨時職員等就業規則の改正について ⑨ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ⑩ 令和5年度事業計画(案)について														

理事会評議員
会の開催・監
査の実施

- ⑪ 令和5年度一般会計収支予算（案）について
- ⑫ 令和5年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について
- ⑬ 評議員会の日程と招集理由について
- ⑭ 基金及び積立金について

(2)理事研修

令和4年度東海北陸6県社会福祉法人経営者セミナー

開催日：11月25日(金)

会 場：Zoom研修

内 容：講演「社会福祉法人をめぐる情勢と今後の動向」

講 師：全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 氏

(3)評議員会

自治会長会副会長の交代により、5名の自治会長に新たに評議員に就任いただいた。
地域の代表として意見をいただいた。

・ 任期：令和7年(6月)定時評議員会の終結の時まで

評議員会の開催状況	
6月23日(木)	① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度一般会計決算について ③ 令和4年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 監事の選任について
12月22日(木)	① 理事の選任について ② 監事の選任について ③ 令和4年度一般会計収支補正予算（案）について
3月23日(木)	① 理事の選任について ② 令和4年度一般会計収支補正予算（案）について ③ 令和5年度事業計画（案）について ④ 令和5年度一般会計収支予算（案）について ⑤ 令和5年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について

(4)監査

- ① 5月30日(金) 令和3年度事業報告・一般会計収支決算の監査を実施した。
- ② 12月6日(火) 令和4年度前期事業・一般会計収支の監査を実施した。

② 戸別・特別会
員の募集

『ふくしのわ1号』で全町民に呼び掛けると共に、全地区の自治会様にご協力いただいた。また、地域福祉座談会やシニアカレッジで社会福祉協議会の役割と実践を説明した。

- ① 特別会費は、各戸配布回数削減のため10月7日(共同募金と同時期)に実施した。
- ② 自治会長会役員会、自治会長会全体会でご協力をお願いした。
- ③ 市民活動団体等15団体を訪問し、特別会員への加入を呼びかけた。
- ④ 特別会員へお礼状を送付し、会費によって地域福祉の事業を実施していることを伝えた。(2月末発送)

戸別・特別会
員の募集

戸別会費の募集状況				
年	戸別会費実績	前年比	世帯数から算出した加入率	自治会加入世帯数から算出した加入率
令和4年	2,670,766 円	98.3 %	53.0 %	64.6 %
令和3年	2,715,592 円	100.7 %	54.3 %	65.7 %

特別会費の募集状況			
年	特別会費実績	前年比	募集の訪問先数
令和4年	705,100 円	62.5 %	15団体
令和3年	1,128,000 円	134 %	22団体

③ 苦情要望の受
付

- (1)苦情の受付
- ① 総務福祉係 1件
 - ・ 心配ごと相談における相談対応について
 - ② 施設事業係 3件
 - ・ ケアマネジャーの交替について(2件)
 - ・ 私有地内での車両の切り替えしについて
- (2)苦情解決第三者委員会
- 開催日 : 10月5日(水)
- 会 場 : 東員町ふれあいセンター
- 内 容 : 令和3年度の苦情について
令和4年度の運営体制について
- 出席者 : 岩田利弘 委員、橋本美千代 委員

④ 職員研修

- (1)総務福祉係
- 9月に共同募金の社会的役割を改めて学び、2月に法人の運営組織や資産運用を学んだ。
- (2)施設事業係
- ① 訪問介護：毎月1回、職業倫理、訪問時の心得・接遇マナー・脱水予防、医療的ケア・権利擁護、虐待・コロナ感染予防の全体研修を行った。
 - ② 通所介護：毎月1回、法令順守・介護予防・認知症ケア・緊急時のコロナ感染予防の全体研修、認知症介護実践者研修と外部研修各1回を行った。
 - ③ 居宅介護：2名が資格更新研修を受講し、県・桑員支部の介護支援専門員協会研修8回、行政・包括等の研修に5回受講した。
 - ④ 相談支援：相談支援計画初任者研修を1名、更新研修を1名受講した。eケアネット他外部研修を受講した。
- (3)人権研修
- 性的マイノリティと人権について、全職員がDVD視聴による研修をした。

職員研修	(4)安全運転講習 開催日　： 10月28日(金) 会　場　： 保健福祉センター 内　容　： 講演「交通事故を防止するために」 講　師　： 三重県安全運転管理協議会　業務課長　福島　尚　氏 ※ 運転を伴うボランティア(29名)も出席した																																
⑤ 寄付金の受付と管理	(1)寄付 寄附者名をホームページに掲載した。寄附をいただいた方に『ふくしのわ』をお渡しして社協事業を説明した。 <table><tr><th colspan="4">寄付金の状況</th></tr><tr><th>期間</th><th>実績</th><th>件数</th><th>前年比</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>1,554,129 円</td><td>57 件</td><td>98.3 %</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>1,580,675 円</td><td>59 件</td><td>129.8 %</td></tr></table> (2)バナー広告 新たな財源確保と地域福祉に関心を寄せる方や企業の拡大を目指しバナー広告を継続実施した。 <table><tr><th colspan="4">バナー広告の状況</th></tr><tr><th>期間</th><th>実績</th><th>協力社数</th><th>前年比</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>237,000 円</td><td>21 社</td><td>110.2 %</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>215,000 円</td><td>19 社</td><td>104.8 %</td></tr></table>	寄付金の状況				期間	実績	件数	前年比	令和4年	1,554,129 円	57 件	98.3 %	令和3年	1,580,675 円	59 件	129.8 %	バナー広告の状況				期間	実績	協力社数	前年比	令和4年	237,000 円	21 社	110.2 %	令和3年	215,000 円	19 社	104.8 %
寄付金の状況																																	
期間	実績	件数	前年比																														
令和4年	1,554,129 円	57 件	98.3 %																														
令和3年	1,580,675 円	59 件	129.8 %																														
バナー広告の状況																																	
期間	実績	協力社数	前年比																														
令和4年	237,000 円	21 社	110.2 %																														
令和3年	215,000 円	19 社	104.8 %																														
⑥ 日本赤十字社会費増強運動	① 自治会長会で説明してご協力をお願いした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため啓発活動は自粛した。 <table><tr><th colspan="3">日本赤十字社会費の募集状況</th></tr><tr><th>期間</th><th>実績</th><th>前年度比</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>2,705,204 円</td><td>98.4 %</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>2,748,790 円</td><td>101.9 %</td></tr></table> ② 令和4年7月大雨災害義援金として町内4か所に義援金箱を設置、協力した。	日本赤十字社会費の募集状況			期間	実績	前年度比	令和4年	2,705,204 円	98.4 %	令和3年	2,748,790 円	101.9 %																				
日本赤十字社会費の募集状況																																	
期間	実績	前年度比																															
令和4年	2,705,204 円	98.4 %																															
令和3年	2,748,790 円	101.9 %																															
⑦ 安全衛生委員会	毎月1回、各部署の代表者が集まり、職域内で新型コロナウイルスによるクラスターを発生させないようマニュアルを作成したり、万が一感染した場合に備えて職員の行動計画を作成した。																																

地域福祉分野

⑧ 福祉のつどい	(1)開催目的 ① マスメディアを活用して支えあい活動の必要性を理解いただける方の拡大を図り、町内全域での地域支えあいの深化を図る。 ② 支えあい活動の楽しさを実感していただき、より暮らしやすい地域を考えるきっかけにさせていただく。 ③ 支えあい活動を行っている団体同士で活動情報を共有していただき、新たな活動の参考にしていただく。
----------	--

福祉のつどい

(2)開催内容

① 東員町地域支えあい活動団体(17団体)を毎月1団体ずつラッキータウンテレビに取材してもらい、各団体リレー方式で「とういんプラムトピックス」で活動を紹介した。

② 町社協ホームページ上に特設ページを作成し、YouTubeで情報発信した。

(3)出演団体（11団体・敬称略）

・お茶しませんか

・ろくちゃんカフェ

・カフェとっとり

・瀬古泉カフェ

・中上地区見守り会議

・カフェにしよん

・大木地区地域福祉委員会

・カフェみなみ

・健遊会

・3丁目さくらカフェ

・やまだ家

※6団体は令和5年度に放映予定

(4)閲覧者数

YouTube再生回数：合計1,201回（11団体）

⑨ 『ふくしのわ』の発行

5月、10月に広報紙『ふくしのわ』を発行し、支えあい活動を身近に感じられるように伝えた。全自治会様に各戸配布のご協力をいただいた。

① 発行部数：1回9,000部

② 配架場所：役場、保健福祉センター、総合文化センター、笹尾連絡所、笹尾コミュニティセンター)

発行日	内容	
5月6日	表紙	令和3年度東員町福祉のつどい
	内容	会長挨拶、理事紹介、令和3年度東員町福祉のつどい、令和4年度事業計画・予算、社協戸別会費募集、日赤協力会員募集、共同募金委員会会長挨拶、赤い羽根共同募金、令和3年度赤い羽根共同募金運動実績報告、第47期シニアカレッジ受講生募集、第46期シニアカレッジ卒業式、地域包括支援センター移転、地域ボランティア制度、寄付者ご紹介
10月7日	表紙	穴太福祉座談会
	内容	理事・監事・評議員紹介、令和4年度特別会費ご協力をお願い、令和3年度事業報告・決算、社協戸別会費実績報告、戸別会費の取組内容、日赤実績報告、共同募金委員会会長挨拶、赤い羽根共同募金自動販売機設置のお願い、赤い羽根共同募金運動ご協力をお願い、東員町で実施する共同募金事業、赤い羽根共同募金羽毛製品回収、町内企業CSR活動、高齢者実態把握事業ご協力をお願い、福祉のつどい、福祉フェア、寄付者ご紹介

⑩ ホームページの運営	町内の支えあい活動、自治会活動、社会福祉協議会の取り組みをすみやかに掲出してご紹介した。 <table><tr><th colspan="4">ホームページ掲出・ページビュー状況</th></tr><tr><th>期間</th><th>掲載記事数</th><th>ページビュー数</th><th>昨年度比</th></tr><tr><td>4月</td><td>28</td><td>5,655</td><td>127.7%</td></tr><tr><td>5月</td><td>33</td><td>4,231</td><td>108.8%</td></tr><tr><td>6月</td><td>31</td><td>7,027</td><td>194.0%</td></tr><tr><td>7月</td><td>29</td><td>6,791</td><td>154.3%</td></tr><tr><td>8月</td><td>23</td><td>3,821</td><td>101.2%</td></tr><tr><td>9月</td><td>15</td><td>5,694</td><td>106.1%</td></tr><tr><td>10月</td><td>35</td><td>9,558</td><td>240.4%</td></tr><tr><td>11月</td><td>36</td><td>6,274</td><td>131.0%</td></tr><tr><td>12月</td><td>29</td><td>5,671</td><td>158.5%</td></tr><tr><td>1月</td><td>23</td><td>5,894</td><td>167.0%</td></tr><tr><td>2月</td><td>21</td><td>5,786</td><td>140.5%</td></tr><tr><td>3月</td><td>17</td><td>5,525</td><td>141.1%</td></tr><tr><td>合計</td><td>320</td><td>71,927</td><td>146%</td></tr></table> ・ Facebookアクセス件数 18,070件 （前年度：11,256件）	ホームページ掲出・ページビュー状況				期間	掲載記事数	ページビュー数	昨年度比	4月	28	5,655	127.7%	5月	33	4,231	108.8%	6月	31	7,027	194.0%	7月	29	6,791	154.3%	8月	23	3,821	101.2%	9月	15	5,694	106.1%	10月	35	9,558	240.4%	11月	36	6,274	131.0%	12月	29	5,671	158.5%	1月	23	5,894	167.0%	2月	21	5,786	140.5%	3月	17	5,525	141.1%	合計	320	71,927	146%
ホームページ掲出・ページビュー状況																																																													
期間	掲載記事数	ページビュー数	昨年度比																																																										
4月	28	5,655	127.7%																																																										
5月	33	4,231	108.8%																																																										
6月	31	7,027	194.0%																																																										
7月	29	6,791	154.3%																																																										
8月	23	3,821	101.2%																																																										
9月	15	5,694	106.1%																																																										
10月	35	9,558	240.4%																																																										
11月	36	6,274	131.0%																																																										
12月	29	5,671	158.5%																																																										
1月	23	5,894	167.0%																																																										
2月	21	5,786	140.5%																																																										
3月	17	5,525	141.1%																																																										
合計	320	71,927	146%																																																										
⑪ 民生委員児童委員協議会との協働	民生委員児童委員協議会の事務局として、活動支援や他機関との連絡調整並びに一般事務と会計業務を担った。 ① 役員会（7回）、定例会（7回）、会長・副会長会（9回）の開催事務 ② 花鉢配布事業、高齢者実態把握事業、PR活動、生活困窮者自立相談支援事業への協力（食糧支援）、全国大会での実践発表など民生委員児童委員活動の支援 ③ 地域ブロック別の活動、分野別の活動の支援 ④ 一斉改選に伴う事務を滞りなく行い、委員同士の引き継ぎなどを円滑に行った。																																																												
⑫ 地域支えあい推進事業	町主催自治会長会に出席させていただいた。 ① 4月14日(木) 自治会長会開催時に、社会福祉協議会戸別会費と日本赤十字社協力会費の募集のご協力をお願いした。また、小地域福祉活動助成事業を説明した。 ② 8月18日(木) 社会福祉協議会戸別会費と日本赤十字社協力会員の募集のお礼と共に、赤い羽根共同募金の戸別募金と特別会費の募集のご協力をお願いした。また、共同募金を財源にしている助成事業を説明した。																																																												
⑬ 地域福祉座談会	東員町にお住まいのすべての方が「東員町に住んどってよかった」と思っていたけりよう、住民主体による支えあい活動を支援した。六把野新田自治会様が開催し、町内の約83%・19地区で実施されることになった。（前年度：18地区） ① 実施状況（19地区・地区順） <table><tr><th>地区名</th><th>名称と内容</th></tr><tr><td rowspan="2">筑紫</td><td>（名称）筑紫地区地域福祉座談会</td></tr><tr><td>※今年度実施なし。</td></tr></table>	地区名	名称と内容	筑紫	（名称）筑紫地区地域福祉座談会	※今年度実施なし。																																																							
地区名	名称と内容																																																												
筑紫	（名称）筑紫地区地域福祉座談会																																																												
	※今年度実施なし。																																																												

地域福祉座談会

穴太	(名称) 穴太福祉座談会	
	実施	内容
	5回	見守り活動、穴太シニアお茶会、地域行事やシニアクラブの状況 など
瀬古泉	(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会	
	実施	内容
	6回	地域づくり、より良い地域になるためにどうしたらよいか、瀬古泉地域の冊子作成、地区内の地域活動の状況 など ⇒ 地域の冊子『ようこそ瀬古泉』を作成し、令和5年1月に 全戸配布(R5.4.18中日新聞で掲載された)
山田	(名称) 山田地区地域福祉座談会	
	実施	内容
	10回	「やまだ家」の活動計画や活動の成果 など
【新規開催】 六把野新田	(名称) 六把野新田福祉座談会	
	1回	地区内の地域活動の状況や困りごとなどを共有
鳥取	(名称) 鳥取地域づくり座談会	
	実施	内容
	7回	鳥取地域づくり、地域行事、アンケートの集計内容 など ⇒ 5月15日（日）に鳥取史跡めぐりを実施 11月5日（土）に鳥取交流グランドゴルフを実施
八幡新田	(名称) 八幡新田見守りネットワーク座談会	
	実施	内容
	4回	見守り情報の共有、やはたおでかけサポート など
大木	(名称) 大木地区地域福祉委員会	
	実施	内容
	12回	地域福祉委員会、大木カフェ、粗大ゴミ運搬のお手伝い、外出サポート活動 など ⇒ 6月から大木カフェの送迎を開始 9月から外出サポート活動の試験実施を行い、令和5年1月から「大木おでかけサポート」の活動を本格開始
南大社	(名称) 南大社地区地域福祉座談会	
	※今年度実施なし。	
長深	(名称) 長深地区地域福祉座談会	
	※今年度実施なし。	

地域福祉座談会

	中上	(名称) 中上地区見守り会議	
		実施	内容
		12回	地域の気になる方の見守り報告、外出サポート活動、にゃんにゃんの家、グラウンドゴルフ、新しい交流の場、各団体の活動報告 など ⇒ 9月から「なかよし会」が活動を開始
	笹尾西1丁目	(名称) 笹尾西1丁目地域福祉座談会	
		※今年度実施なし。	
	笹尾西4丁目	(名称) 笹尾西4丁目地区地域福祉座談会	
		※今年度実施なし。	
	笹尾東1丁目	(名称) 笹尾東1丁目地域づくり座談会	
		実施	内容
		6回	今後の地域づくり活動、地域づくり推進プロジェクトの活動報告、お出かけ（買い物）サポート活動 など ⇒ 4月からお出かけ（買い物）サポート活動を開始 子どもから高齢者までが交流できる「地域ふれあい交流会」について考えていく
	笹尾東2丁目	(名称) 笹尾東2丁目地域活動座談会	
		実施	内容
		2回	資源ゴミ回収時の見守り、災害時や地域活動で活用するビブスの必要性について
	笹尾東4丁目	(名称) 笹尾東4丁目地区見守り会議	
		実施	内容
		6回	見守り会議の周知やボランティアメンバーの募集、ふれあいラジオ体操、敬老行事、地域の中で気になる人・気になること など ⇒ 令和4年7月に「笹尾東4丁目地区見守り会議」を東員町地域支えあい活動団体に登録
	城山1丁目	(名称) 城山1丁目地区座談会	
		※今年度実施なし。	
	城山2丁目	(名称) 城山2丁目地区座談会	
		※今年度実施なし。	
	城山3丁目	(名称) 城山3丁目地区座談会	
		実施	内容
		5回	今後の地域づくり、敬老会と親睦会、城山祭り、お助け隊 など ⇒ 11月22日（火）に四日市市平津新町「平津新町生活応援隊」の視察研修

⑭ 生活支援体制
整備事業

1)地域支えあいの深化

(1)支えあいが、より深まるための支援(対象団体26団体)

- ① カフェ活動や生活支援活動から自然発生的な支えあいが醸成されるよう情報提供した。
- ② 地域活動には様々な参加の仕方があること、「誰かのためにできることをする」ことが支えあいであることを伝えた。
- ③ 一見福祉と関係がないような様々な活動に、福祉的な視点が加わると安心して暮らせる地域になることを伝えた。
- ④ 新たな地域福祉活動を立ち上げようとしている取り組みを支援した。
 - ・大木地区：中上・八幡新田・瀬古泉・笹尾東4丁目・笹尾東1丁目地区の
外出サポート活動に関する情報の提供
⇒ 令和4年9月より「大木おでかけサポート」を試験的に開始
令和5年1月以降は、原則毎月第1月曜日に実施
 - ・笹尾西3丁目地区：カフェ活動の立ち上げにあたり、各地区の活動状況を
情報提供
⇒ 令和4年12月に「さんさんカフェ」が活動開始
 - ・城山3丁目地区：四日市市平津新町「平津新町生活応援隊」の視察研修

(2)安心して活動を継続するための支援

- ① 県食品衛生規則や桑名保健所の活動を情報提供し、カフェ活動を行っている団体の業務開始届を取りまとめて桑名保健所へ提出した。

(3)活動範囲が広がるための支援

- ① とういん市民活動支援センターと随時情報を共有し、意見交換した。また、運営委員会に出席し、地域福祉の視点から助言や情報提供を行った。
- ② 東員町子ども・子育て会議に出席し、地域福祉の視点から意見を述べた。また、子育て支援事業の立ち上げを新たに検討している団体へ、地域福祉の視点から助言や情報提供を行った。
- ③ 地域包括支援センターと定例会を開催したり、地域ケア会議に出席して地域の現状を情報共有した。
- ④ イオンモール東員に地域福祉活動の情報を提供し、協働できる取り組みについて意見交換した。
⇒ 令和5年4月に子育て支援の協働事業を実施。
- ⑤ 町内の小学校に「認知症キッズサポーター養成講座」の講師として出向いた際に“支えあい”の大切さを伝えた。
- ⑥ 政策課地域コミュニティ応援プロジェクトチーム、健康長寿課と情報共有、意見交換した。健康長寿課とは定例で行った。
- ⑦ 健康長寿課所管の地域包括ケア推進会議で地域の実情や事業の進捗状況を報告した。
- ⑧ 地域福祉課とともに、桑名市、いなべ市から重層的支援体制整備事業の説明を受け、今後の体制構築を協議した。

生活支援体制 整備事業	(4)東員町支えあい活動団体の活動紹介とネットワークづくり ① 町内の支えあい活動を取材し、社協HP、Facebook、広報紙で紹介した。 ・ 取材回数：延べ172回 ② 東員町シニアカレッジで、笹尾西4丁目地区の「カフェにしよん」が実践発表した。																
⑮ 活動支援 	支えあいの活動がより推進されるよう支援した。 (1)地域福祉活動助成事業 地域福祉座談会を通じて生まれた活動に要する経費の一部を助成した。 ① 山田自治会 100,000円 事業名：やまだ家（カフェで使用する備品） ② 城山3丁目自治会 50,000円 事業名：健康麻雀（カフェや地区内の団体が使用する備品） ③ 中上自治会 50,000円 事業名：中上CAT（各活動の消耗品） ④ 笹尾東2丁目自治会 100,000円 事業名：笹尾東二丁目地区地域福祉座談会（ベスト作成） ⑤ 南大社自治会 50,000円 事業名：カフェみなみ（プロジェクター、ブルーレイプレイヤー） ⑥ 瀬古泉自治会 50,000円 瀬古泉の暮らしを考える会（『ようこそ瀬古泉へ』作成等） (2)小地域福祉活動助成事業 だれもが地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進する自治会活動に要する経費の一部を助成した。 ① 23自治会 453,544円 (3)ボランティア活動保険の加入推奨 安心して活動できるよう、ボランティア活動保険の加入を推奨した。 <table border="1"><tr><th colspan="2">ボランティア活動保険加入状況</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>677件</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>580件</td></tr></table>	ボランティア活動保険加入状況		令和4年	677件	令和3年	580件										
ボランティア活動保険加入状況																	
令和4年	677件																
令和3年	580件																
⑯ 生活支援型配食サービス	ひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に、生活の改善、健康保持、安否確認を目的に栄養バランスのとれた食事を定期的に配達した。 (1)配食 委託先：社会福祉法人いずみ 利用日：月曜日から金曜日の中で希望する日 個人負担金：300円(減額対象者6名 150円) <table border="1"><tr><th colspan="4">生活支援型配食サービス利用状況</th></tr><tr><th>期間</th><th>利用食数</th><th>登録者数</th><th>利用実人数1日平均</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>4,022食</td><td>29名</td><td>17人</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>3,061食</td><td>27名</td><td>13人</td></tr></table>	生活支援型配食サービス利用状況				期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均	令和4年	4,022食	29名	17人	令和3年	3,061食	27名	13人
生活支援型配食サービス利用状況																	
期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均														
令和4年	4,022食	29名	17人														
令和3年	3,061食	27名	13人														

生活支援型配食サービス	(2)安否確認 配達時に留守で安否確認した件数 15件 そのうち、家族（ケアマネジャー）・民生委員に連絡した件数 13件																
⑰ ふれあい型配食サービス 	ひとり暮らし高齢者等に食事を手渡しすることで地域の方々とふれあい、孤独感を和らげ閉じこもり防止を図った。 (1)配食 委託先： 火曜日 偶数月 就労継続支援 A 型ピュア(調理) 奇数月 まんまやひなた（調理） 金曜日 わくわくボランティア(調理・配達) 利用日：火曜日と金曜日の希望する日 個人負担金 ： 300円 <table border="1"><tr><th colspan="4">ふれあい型配食サービス利用状況</th></tr><tr><th>期間</th><th>利用食数</th><th>登録者数</th><th>利用実人数1日平均</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>2,492食</td><td>54名</td><td>25人</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>2,764食</td><td>57名</td><td>28人</td></tr></table> (2)安否確認 配達時に留守で安否確認した件数 40件 そのうち、家族(ケアマネジャー)・民生委員に連絡した件数 18件 (3)食中毒予防講習会 開催日 ： 令和4年5月20日(金) 講 師 ： 桑名保健所 参加者 ： 12人	ふれあい型配食サービス利用状況				期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均	令和4年	2,492食	54名	25人	令和3年	2,764食	57名	28人
ふれあい型配食サービス利用状況																	
期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均														
令和4年	2,492食	54名	25人														
令和3年	2,764食	57名	28人														
⑱ シニアカレッジ	地域福祉に関心を持っていただき、地域福祉活動のリーダーになっていただけるよう実施した。 開催日 ： 月1回（6月～2月） 会 場 ： ふれあいセンター等 内 容 ： 東員町の現状(東員町長)、東員町の歴史(猪名部神社宮司)、議会の仕組み（東員町議会議長）、農産物の収穫体験学習（シグマファームとういん）、支えあい活動の実践（笹尾西4丁目）など 修了生 ： 16人 その他 ： アンケートを実施し、受講生から 「久しぶりに勉強することができました。」 「楽しい思い出ができてよかったです。」 「シニアカレッジを通してお友達ができた。」 との声をいただいた。シニアカレッジを通して楽しみや生きがいの発見につながった。																
⑲ 地域ボランティア	地域ボランティア制度への登録をきっかけに地域福祉に関心をもってもらえるよう、登録説明会で地域福祉に関して意見交換する時間を設けた。 (1)登録状況 ① 登録者： のべ253人(65歳未満の登録者 / 15人) ② 活動先： 40ヵ所																

地域ボランティア

介護付有料老人ホームあおい、ナジックホームも、特別養護老人ホームパークデンス、東員町でイビセンターふれあい
ショートステイグループホームとういん、笹尾でイビセンターみんなの家、就労継続支援A型事業所シグマホームとういん
とういんでイビセンターとういんシニアハウス、宅老所紫苑・第2紫苑、第3紫苑、第3サテライトMen's、大仲さつき病院
とういんシニアハウス、パークハウス東員、(福)いずみ、各地区支えあい活動団体9団体
各保・幼稚園6園、各小学校6校、各中学校2校、教育委員会、社会福祉協議会

- ③ 登録希望者説明会の開催：25回
- ④ 登録者と活動先とのマッチング：6回他、地域ボラカフェを実施した。

(2)活動状況

- ① 傾聴ボランティア6名が個人宅5軒で活動した。
- ② 登録者対象の講座開催
 - ・ 認知症サポーター養成講座（R4.9.28実施）
講師：認知症地域支援推進員、参加者：9人
 - ・ 傾聴講座（R4.11.17実施）
講師：地域ボランティア登録者3人、参加者：11人
 - ・ PC講座(6回/年)
講師：地域ボランティア登録者、参加者：のべ31人
- ③ ポイント交換及び確認率：97.7%

173人/令和4年度活動者数、169人/ポイント交換手続き者及び確認者数

地域ボランティア活動状況		
期間	登録者数合計	活動先合計
令和4年度	253名	40ヵ所
令和3年度	161名	34ヵ所

⑳ 心配ごと相談
無料弁護士相談

弁護士及び一般相談員(有資格者・学識経験者・元民生委員)が相談に応じた。
法的な相談に対しては、弁護士が助言したり専門機関を紹介した。
開催日：毎月5日(土・日・祝の場合は翌日)及び、第3日曜日
相談件数：67件(弁護士62件)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月21日は中止

心配ごと相談開催状況		
期間	開催回数	相談件数
令和4年度	23回	67件(弁護士62件)
令和3年度	21回	80件(弁護士72件)

㉑ 当事者団体の
育成支援

- ① 東員町シニアクラブ連合会
理事会・企画委員会の事務支援、各種事業の開催・広報活動の支援 など
- ② 東員障がい児者友の会
各種事業の開催支援、広報活動の支援、助成金の交付 など
- ③ 東員町障がい児(者)親の会
団体運営にかかる支援、助成金の交付 など
- ④ 東員町遺族会
行政との連絡調整、戦没者追悼式等の参加支援、助成金の交付 など

当事者団体の 育成支援	⑤ 東員町母子寡婦福祉会 団体運営にかかる支援、広報活動の支援、助成金の交付 など ⑥ いなべ地区視覚障がい者協会 団体運営にかかる支援、助成金の交付 など ⑦ いなべ市聴覚障がい者福祉協会東員支部 団体運営にかかる支援、助成金の交付 など ⑧ 東員町福祉事業所連絡協議会 団体運営・企画実施にかかる支援、助成金の交付 など
② 子育て支援事業 	子育ての当事者と地域住民が多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間づくりを図り、様々な世代が地域で子育てを支援し、生きがいにつながるよう、子育て世代をサポートした。 (1)東員町子育て支援ネットとの協働・支援 ① 定例会に出席し、ボランティアが意欲的に取り組めるよう支援した。 テーマ：防災講座、東員町子育て支援センターでの見守りボランティア、のびのび遊び場はじめての一步について など ② かぞくの防災講座を開催し、子育て世代に対する防災意識の向上と防災対策の推進を図った。 日 時：令和4年11月12日（土） 10：00～11：30 会 場：ふれあいセンター 対 象：町内在住の3歳未満のお子さんとそのご家族 参加者：33名 内 容：ハザードマップ再確認（講師：東員町役場総務課防災対策室 職員） 水害被害体験談（講師：倉敷市社協 松本様、倉敷市市民 岡野様） 消防車乗車体験（東員町消防団） ③ 東員町子育て支援センターと子育て支援に関する情報を共有した。 (2)要保護児童の支援 ① 東員町要保護児童等対策地域協議会実務者会議及び定例会に出席し、関係機関等と要支援児童のケース検討及び状況を共有した。 ・実務者者会議（4回/年） 定例会（8回/年）
③ 災害対策事業	(1)三重県社協災害時広域連携協議会への参画 ① 桑員ブロック社協災害時広域連携協議会の副幹事社協を担った。 ② 相互応援体制の初動をシミュレーションし、各市町社協や行政等との連携を確認した。 (2)災害時の職員の対応・体制の整備 ① 災害時における職員初動対応ガイドラインを整備した。
④ 共同募金委員会の活動支援 	東員町共同募金委員会の事務局を担い「地域福祉を推進するための募金」として共同募金運動を推進した。 (1)広報 ① 『ふくしのわ』（10/7発行）ホームページで運動情報を発信 ② 啓発ポスター、チラシを町内各所へ配架 ③ 共同募金の趣旨や用途を示した町独自のPRチラシを作成・各戸配布

共同募金委員
会の活動支援



(2)運営

- ① 運営委員会（3回）の開催事務
- ② 三重県共同募金会主催の会議に出席
- ③ 新規自動販売機を運営委員の協力等により2台設置

(3)共同募金運動への協力依頼

- ① 自治会長会、東員町商工会理事会、東員町校長会、東員町園長会で説明してご協力をお願いした。
 - ② 市内の商店、法人、企業を訪問してご協力をお願いした。
 - ③ 商工祭、スポーツフェスタ、コスモス祭りでイベント募金を行った。
 - ④ ヴィアティン三重が公式サポーターに就任し、ホーム公式戦では、選手と一緒にイベント募金を行った。
 - ⑤ 地域で開催されているカフェで地域の方の手で募金活動が行われた。
- 実績総額4,181,214円 目標額3,776,200円 達成率110.73%

利用支援分野

- ②⑤ 福祉有償運送 介助なしに交通手段を利用できない方を、福祉有償運送事業によるヘルパーの運転によって通院を支援した。現在は、15名の方が定期的に利用されている。なお、定期的な利用が多い。

福祉有償運送車両別利用状況													(単位：回)
令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽乗用車	0	0	4	2	0	8	18	10	8	2	12	12	76
福祉車両（スロープ）	23	34	24	26	30	16	21	16	20	8	24	22	264
福祉車両（リフト）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	34	28	28	30	24	39	26	28	10	36	34	340

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽乗用車	0	11	10	4	8	6	9	2	4	6	2	5	67
福祉車両（スロープ）	24	29	26	22	24	24	27	28	26	26	32	19	307
福祉車両（リフト）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	40	36	26	32	30	36	30	30	32	34	24	374

- ②⑥ 介護タクシー 助成事業 要支援1・2 要介護1・2の認定を受けた方に介護タクシー利用券を発行して、在宅高齢者の外出を促した。

- ① 2,680円助成/年
- ② 協力事業所 9事業所（2事業所は中止中）

介護タクシー券助成状況		
令和4年	54名申請・交付	27名・のべ88回利用
令和3年	45名申請・交付	23名・のべ59回利用

②⑦ 日常生活自立支援事業	契約した利用者の日常金銭管理や日常的な困りごとに対応した。 金銭管理を通して日常的に利用者等と関わり、心配ごとを傾聴し、安心していただけるよう他機関に連絡・調整を行った。 ① 利用者 14人（新規契約者：7人(男性4人・女性3人) 解約者：0人） ② 生活支援員 5人（男性2人 女性3人） ③ 相談対応(日常的な困りごとの相談,関係機関との連絡,契約までの調整等) <table><tr><th colspan="2">相談対応回数</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>849回</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>656回</td></tr></table> ④ 日常的金銭管理、日常的見守りの支援（日常生活の出金,公共料金の支払い等） <table><tr><th colspan="2">日常的金銭管理、日常的見守りの支援回数</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>226回（支援員158回、専門員68回）</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>185回（支援員140回、専門員45回）</td></tr></table>	相談対応回数		令和4年	849回	令和3年	656回	日常的金銭管理、日常的見守りの支援回数		令和4年	226回（支援員158回、専門員68回）	令和3年	185回（支援員140回、専門員45回）																																				
相談対応回数																																																	
令和4年	849回																																																
令和3年	656回																																																
日常的金銭管理、日常的見守りの支援回数																																																	
令和4年	226回（支援員158回、専門員68回）																																																
令和3年	185回（支援員140回、専門員45回）																																																
②⑧ 日常的金銭管理サービス事業	判断能力のある概ね65歳以上の高齢者や20歳以上の身体障がい者等を対象に金融機関の手続きを代行した。 ① 日常的金銭管理サービス利用者 0人 （利用者1人であったが、死去により3月末は利用者0人） ② 事業への問い合わせ 0件 ③ 利用希望の相談件数 0件																																																
②⑨ 福祉用具の貸出	短期間あるいは緊急に車いす等が必要な方に無料で貸し出した。また、そこで得た情報を民生委員に提供し、地域の福祉支援に役立てた。 <table><tr><th colspan="4">福祉用具の貸出状況（単位：件）</th></tr><tr><th>期間</th><th>車いす</th><th>スロープ</th><th>シャワーチェア</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>176</td><td>5</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>135</td><td>6</td><td>9</td></tr></table> <table><tr><th colspan="8">貸出理由（複数回答可 単位：件）</th></tr><tr><th>期間</th><th>通院</th><th>一時退院</th><th>通学</th><th>旅行</th><th>買い物</th><th>日帰り</th><th>その他</th></tr><tr><td>令和4年</td><td>85</td><td>4</td><td>1</td><td>10</td><td>34</td><td>33</td><td>46</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>62</td><td>8</td><td>2</td><td>7</td><td>24</td><td>15</td><td>37</td></tr></table> ※その他理由…日常生活、試用、一時退院時など	福祉用具の貸出状況（単位：件）				期間	車いす	スロープ	シャワーチェア	令和4年	176	5	4	令和3年	135	6	9	貸出理由（複数回答可 単位：件）								期間	通院	一時退院	通学	旅行	買い物	日帰り	その他	令和4年	85	4	1	10	34	33	46	令和3年	62	8	2	7	24	15	37
福祉用具の貸出状況（単位：件）																																																	
期間	車いす	スロープ	シャワーチェア																																														
令和4年	176	5	4																																														
令和3年	135	6	9																																														
貸出理由（複数回答可 単位：件）																																																	
期間	通院	一時退院	通学	旅行	買い物	日帰り	その他																																										
令和4年	85	4	1	10	34	33	46																																										
令和3年	62	8	2	7	24	15	37																																										
③⑩ 公的資金貸付事業	(1)生活福祉資金、町臨時つなぎ資金の貸付相談 生活費などの相談に対応し、公的貸付資金の申請や償還を支援した。 <table><tr><td>① 相談件数</td><td>72件（実人数 26人） （前年：84件 / 実人数 10人）</td></tr><tr><td>② 調査委員会</td><td>2件 ※教育支援資金（支援費） 1件 教育支援資金（支度費） 1件</td></tr></table>	① 相談件数	72件（実人数 26人） （前年：84件 / 実人数 10人）	② 調査委員会	2件 ※教育支援資金（支援費） 1件 教育支援資金（支度費） 1件																																												
① 相談件数	72件（実人数 26人） （前年：84件 / 実人数 10人）																																																
② 調査委員会	2件 ※教育支援資金（支援費） 1件 教育支援資金（支度費） 1件																																																

公的資金貸付
事業

③ 貸付決定	5件（ひとり親世帯：2件） ※教育支援資金（支援費） 1件 教育支援資金（支度費） 1件 緊急小口資金 2件 町臨時つなぎ資金 1件
④ 完済	5件 ※緊急小口資金（2件） 福祉資金（福祉費） 1件 教育支援資金（支援費） 2件
⑤ 滞納者面談	0件
⑥ 貸付状況	福祉費 0件 緊急小口資金 7件 教育支援資金（教育支援費） 7件 教育支援資金（就学支度費） 9件 総合支援資金 1件 町臨時つなぎ資金 1件

(2)新型コロナ特例貸付の相談対応

新型コロナ感染拡大による影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮している方の相談に応じ、貸付申請等を支援した。

① 相談件数	74件（実人数 23人） （前年：331件 / 実人数 42人）
② 申請件数	24件（合計 8,150,000円）※ひとり親世帯申請：1世帯 貸付決定：19件（合計6,650,000円） 貸付不承認：5件（合計1,500,000円） ※前年：47件（合計 25,450,000円） 貸付決定：35件（合計20,450,000円） 貸付不承認：12件（合計5,000,000円） * 特例小口 13件（前年：20件） * 特例総合 11件（前年：10件） * 特例総合（延長） 0件（前年：3件） * 特例総合（再貸付） 0件（前年：14件）
③ 償還完了件数	1件 （前年は償還実績なし）※特例貸付の償還は令和5年1月より開始
④ 償還免除件数	* 特例小口 20件（前年：0件） （死亡に伴う免除 1件） （生活保護受給による免除 1件） * 特例総合 11件（前年：10件）
⑤ 償還猶予件数	* 特例小口 1件（前年：0件） * 特例総合 1件（前年：0件）

公的資金貸付
事業

⑥ 償還状況 (返済件数)	* 特例小口 62件 (前年：0件) * 特例総合 78件 (前年：10件)
⑦ 償還状況 (未返済件数)	* 特例小口 74件 (前年：0件) * 特例総合 51件 (前年：10件)
⑧ 償還における相談件数	6件 (前年：0件)

(3)町内小中学校への制度周知

日 時：令和4年7月12日開催の校長会

周知内容：進学に係る経費など生活面で困窮している世帯に、生活相談支援センターや資金貸付制度などがより行き渡るよう、周知した。

③① 生活困窮者自立相談支援事業



(1)生活困窮者自立相談支援事業

三重県生活相談支援センター相談支援員（三重県社協）や、東員町役場地域福祉課の困窮支援担当者と連携し、年金等各種給付の受給手続きや就労、医療機関の受診、進学への助言、制度利用の提案などの対応をした。

相談の種類と件数	
相談の種類	件数
① 生活・家計の相談	322件（実人数 48人） （前年：583件 / 実人数 68人）
② 家計改善支援事業	0名（0回）（前年：0名・0回）
③ 緊急食糧提供事業	16名（18回）（前年：16名・17回）
④ 緊急物品等支援事業	5名（5回）（前年：3名・3回）
⑤ 賃貸住宅入居保証事業	0名（0回）（前年：0名・0回）

(2)東員町生活困窮者自立支援食糧提供事業

5年保存でそのまま食べられるおにぎりやレトルト食品を備蓄し、生活困窮世帯に緊急的に食料を提供した。また、社会福祉法人いずみのお弁当とパンの利用券を発行した。

社会福祉法人いずみのお弁当とパンの利用券	
令和4年	1人
令和3年	0人

そのまま食べられるおにぎり	
令和4年	3人
令和3年	7人

(3)法外援護による支援

現行の援護制度の対象にならないが、緊急一時的に命に関わる困窮状態である方に上限1000円を貸し出し、これを機に就労に向けて助言をしたり、他の制度に結びつくよう生活再建を支援した。

法外援護の利用状況	
利用された方	利用者数
町内在住	2名（前年：0名）
町外在住	1名（前年：2名）

生活困窮者自立相談支援事業



(4)生活困窮者対応用備品、備蓄食料の配備及び活用

炊飯器や電子レンジ、カセットコンロなどの備品や、備蓄食糧を配備・活用して生活再建のきっかけとした。

備品等の活用状況	
令和4年	17名
令和3年	17名

(5)新型コロナウイルスに関する対応

新型コロナ特例貸付と並行して備品や備蓄食糧をご利用いただいた。

備品等の活用状況	
令和4年	0人
令和3年	4人

介護保険サービス・障がい者福祉サービス分野

③ 訪問介護

- ① 新規の利用が多くなり、利用者数、訪問回数が増加した。なお、夫婦共に要介護状態になり、ヘルパーを利用するケースが5件あった。
- ② 登録ヘルパーを3人増員し、利用者を受け入れることができた。
- ③ 利用者の状態が変わりプランの変更があった場合、すぐに対応できるように利用者、介護者、関わるサービス事業所との連絡を密にした。
- ④ 定期的にコロナウイルス感染症対策の研修を実施し、職員の意識を高めた。
- ⑤ 事業継続計画(BCP)や各指針を作成を進め、内容の共有を図った。

請求額状況 (単位：千円)													
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	2,549	2,682	2,637	2,440	3,138	3,113	2,921	2,919	2,842	2,429	2,514	2,476	32,660
令和3年度	2,366	2,289	2,463	2,504	2,452	2,555	2,636	2,637	2,437	2,216	2,250	2,557	29,362
介護度別利用者人数 (単位：千円)													
介護度分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	8	24
要支援 2	12	12	11	12	12	12	15	14	10	10	12	16	148
要介護 1	94	92	96	90	118	122	134	130	128	103	117	145	1,369
要介護 2	208	208	208	150	175	212	201	196	194	176	154	96	2,178
要介護 3	107	137	147	144	152	170	181	202	200	162	185	189	1,976
要介護 4	110	121	85	78	158	127	49	61	51	45	52	47	984
要介護 5	89	97	95	102	89	104	96	97	99	93	90	86	1,137
合計	620	667	642	576	704	747	668	664	620	569	579	654	7,816
令和3年度	549	548	594	610	585	613	668	664	620	569	579	654	7,253

③ 障がい児者訪問介護

- ① 新規に2人の利用者と契約した。利用者の年齢が若く、10年以上の長期の支援が予想されるため、適切なプランで支援できるように、利用者の状況を把握し、相談支援専門員と何度も一緒に訪問して援助内容を決定した。
- ② 利用者の主介護者が母親であるケースが数件ある。母親の思いに寄り添い、ヘルパーの利用によって利用者、介護者が在宅で過ごしやすくなるよう援助した。
- ③ 定期的にコロナ感染対策の研修を実施し、職員の意識を高めた。
- ④ 事業継続計画(BCP)や各指針を作成を進め、内容の共有を図った。

	請求額状況												(単位：千円)
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	1,573	1,626	1,465	1,554	1,659	1,685	1,885	1,667	1,697	1,719	1,787	2,039	20,356
令和3年度	1,780	1,787	1,828	1,827	1,783	1,775	1,739	1,753	1,800	1,734	1,578	1,695	21,079
障がいサービス別総人数													(単位：千円)
支援項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	243	314	275	285	320	317	317	309	309	313	323	348	3,673
家事援助	121	102	100	96	104	101	101	91	101	89	79	109	1,194
合計	364	416	375	381	424	418	418	400	410	402	402	457	4,867
令和3年度	471	469	454	469	452	464	458	454	451	451	421	435	5,449

③④ 通所介護

- ① ふれあいセンターの北玄関から外気が浴室やサロンに入りやすく、サロン室内温度の変化が激しいところがあった。寒さの指摘を受けたため、北玄関自動扉の付近に扉を設置した。利用者から好評いただいた。
- ② 新しいパターンの利用方法として半日デイ（9：30～11：30）の開設検討会を開催した。
- ③ 感染症罹患者の利用について、基本方針を掲示・共有し、スタッフの対応の統一を図った。
- ④ 臨時事務員を採用し介護職員が介護に専念できるようになった。
- ⑤ 一般浴脱衣場のスペースを広く使えるように特浴脱衣場に手すり増設を検討した。
- ⑥ コロナウイルス感染症に罹患した職員や利用者が複数名あったが、クラスターにならないように対応できた。
- ⑦ 事業継続計画(BCP)や各指針を作成を進め、内容の共有を図った。

請求額状況													(単位：千円)
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	8,267	8,820	8,714	8,588	8,967	9,099	9,324	9,210	8,596	6,880	8,573	8,612	103,650
令和3年度	8,414	8,290	9,055	9,031	8,085	8,470	8,365	8,141	8,460	7,328	6,467	8,463	98,569

介護度別利用者状況													(単位：千円)
介護度区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	13	12	12	8	10	9	22	21	21	14	19	27	188
要支援 1	0	0	0	0	0	0	2	4	4	3	4	4	21
要支援 2	23	28	24	16	25	24	23	24	17	22	19	15	260
要介護 1	170	165	178	184	198	191	220	208	192	145	189	219	2,259
要介護 2	316	348	318	325	338	318	291	291	270	202	245	259	3,521
要介護 3	117	136	145	132	128	149	129	147	148	120	114	108	1,573
要介護 4	124	116	112	119	124	133	134	126	125	108	127	142	1,490
要介護 5	27	22	32	33	25	28	39	33	34	25	37	43	378
合計	790	827	821	817	848	852	860	854	811	639	754	817	9,690
令和3年度	783	781	856	841	780	786	789	761	737	701	616	806	9,237

(注)事業対象者とは、基本チェックリストの結果、心身機能の衰えによる生活機能の低下がみられると町が判定した方

- ③⑤ 日中一時支援
- ① 学校の長期休暇（夏休み等）の期間の他事業所を利用するまでの数時間を過ごすつなぎ利用の検討を行った。
- ② 新規の方の障害特性や介護保険利用者との相性等をみるためにお試し利用を行った。

日中一時支援利用者状況													(単位：人)
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	18	16	16	20	20	14	19	16	7	8	8	9	171
令和3年度	10	15	12	14	13	13	11	11	15	15	12	16	157

- ③⑥ 居宅介護支援
- 居宅介護支援にあたっては、次のとおり取り組み、利用者の日常生活を支援した。
- ① 初回訪問を2人体制にしたことで、主担当のみで対応できないような場合でも、同行した他のケアマネージャーが対応できるようになり、利用者に安心してもらうことができた。
- ② 利用者が住み慣れた場所で最期まで過ごせるように医療職と連携して支援した。（自宅での看取り支援 9件）
- ③ 新規利用の依頼に全て対応した。また、入院や施設入所などで中止になるケースが多くあった。
- ④ 高齢者夫婦、認知症独居、虐待などに加え、介護者への支援が必要なケース（介護者が精神疾患、引きこもり等）が増えている。そのため、地域包括支援センター、第二地域包括支援センター、行政など多職種と連携しながら支援した。
- ⑤ 個々のケアマネージャーの質を向上させるために、研修会や会議などにも積極的に参加し、事業所内で定期ミーティングを行い、各ケースの共有と対応を検討した。
- ⑥ ケアマネージャー実習生を受け入れ、ケアマネジメントの支援プロセスを体験してもらい指導した。
- ⑦ 事業継続計画(BCP)や各指針を作成を進め、内容の共有を図った。

請求額状況													(単位：千円)
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	2,243	2,186	2,295	2,154	2,152	2,087	2,189	2,224	2,100	2,106	2,180	2,290	26,206
令和3年度	2,303	2,114	2,123	2,154	2,184	2,087	2,128	2,097	2,204	2,174	2,273	2,092	25,933
介護度別利用人数													(単位：千円)
介護度分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	13	12	14	13	14	13	16	15	15	16	18	18	177
要介護 1	33	34	38	38	36	38	38	37	36	32	36	36	432
要介護 2	42	40	39	35	36	35	37	41	38	36	36	37	452
要介護 3	25	24	24	24	25	22	20	22	21	24	25	26	282
要介護 4	19	20	20	19	19	18	21	19	18	19	17	17	226
要介護 5	7	7	6	5	4	5	5	5	5	5	4	5	63
合計	139	137	141	134	134	131	137	139	133	132	136	141	1,634
令和3年度	142	136	136	135	135	133	136	134	138	134	138	139	1,636

(注)「総合事業」は、介護予防・日常生活支援総合事業として要支援認定を受けた方および基本チェックリストで事業対象者と認定された方が利用するプラン作成のこと

- ③⑦ 障がい者・障がい児計画相談
- 障害福祉サービスや基幹相談業務をとおり、障がいのある方等への日常生活の支援を行った。
- ① 学校を卒業する1ケースを除き前任者からの引継ぎは完了した。その中で更新時以外に、サービス計画の変更が10件あった。
 - ② サービス計画に関わるサービス提供事業所との連携では、互いのケースを共有し、利用者・相談者の理解に努めた。
 - ③ 請求業務では加算等について質疑を行い、新規の事業所の情報を得る事に努めた。また、他の相談員の事例から、金銭トラブル等についての情報を聞き取った。
 - ④ 三重県下の基幹相談支援事業所や、各地域の現状、医療面でのサービス等の状況の他、就労やハラスメント、虐待、依存症の研修を受講し研鑽に努めた。
 - ⑤ 事業継続計画(BCP)や各指針を作成を進め、内容の共有を図った。

計画相談利用人数 (単位：人)													
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	12	10	14	10	8	17	12	10	12	12	11	16	144
令和3年度	12	12	12	12	19	20	15	10	11	11	11	12	157
基幹相談利用人数 (単位：人)													
区分	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計				
障がい者	35	13	3	10	10	5	1	0	20				
障がい児	33	1	4	1	3	13	0	13	20				
合計	68	14	7	11	13	18	1	13	20				

計画相談状況 (単位：人)					
訪問	来所	電話	関係機関	その他	合計
178	56	276	835	198	1543

③⑧ 短期集中訪問型サービスC	① 受託している制度設計上、利用期間の制限がある為なのか年間を通じ新規利用はなかった。
③⑨ 地域リハビリテーション活動支援事業	① 地域ケア会議へのアドバイザーとして理学療法士を8回派遣した。 ② 地域で行なわれる介護予防の指導者派遣については、東員町から依頼はなかった。
④⑩ 短期集中通所型サービスC	① 受託している制度設計上、利用期間の制限がある為なのか年間を通じ新規利用はなかった。
④⑪ 通所型サービスB事業	① コロナウイルス感染症の影響はあったが、 麻雀：8回 椅子ヨガ：8回 百歳体操：4回 パソコン：2回 開催した。 ② 将棋を希望される方がいるため麻雀と一緒に将棋もメニューに加えた。 ③ 必要以上にボディータッチをされる方があり、ハラスメント指針を公表して女性の方が利用しやすくお互いが注意しあえる環境を作った。 ④ 感染症の影響で開催できなかった月があった。再開した時には「待ってました」との声が聞こえてきた。

利用者人数													(単位：人)
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	47	43	65	46				49	48	39	59	54	450
令和3年度	32				8		17	25	35	28			145

地域包括支援センター分野

④② 一般介護予防事業	(1)介護予防把握事業 100歳体操や地域カフェなどにて実態把握 40回 (2)介護普及啓発事業 フレイル予防教室の開催 8回 (3)地域介護予防活動支援事業 ①地域カフェで介護予防講座 9回 ②地域カフェや100歳体操に参加し健康増進の情報提供 40回 ③民生委員、シニアカレッジで介護講座 2回
④③ 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	(1)第1号介護予防支援業務(介護予防ケアマネジメント) 要支援、事業対象者に対して介護予防及び日常生活支援を目的とし、個人の意思に基づくケアプランの作成を行った。また、居宅介護支援事業所に委託する場合には、初回面談への立会いとプランへの支援を行った。 ①第1号介護予防支援計画件数（介護予防ケアマネジメント） 118件 ②第1号介護予防支援計画の委託請求件数 87件 ③第1号介護予防支援計画の連携加算（新規委託） 2件

包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	(2)総合相談支援業務 電話、来訪による相談の受付と対応を行い、継続的・専門的な見守りや支援につなげた。 ①総合相談支援 相談件数 3,374件(内新規 361件) ②高齢者実態調査 民生委員との協働により実施。調査票の見直しを行い、記載方法を変更した。なお8月～11月の期間で実態調査を実施した。 今年度の対象者数 1,623人 ③民生委員との連携協力 民生児童委員役員会、定例会に参加するとともに 民生委員からの相談の受付、対応、情報共有を行った。155件 (3)権利擁護業務 ①日常生活自立支援事業、成年後見人制度などの権利擁護を目的としたサービスの情報提供や相談、必要な機関の紹介や調整 31件 ②終活セミナーの実施 2回 (4)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、医療機関との連携、介護支援専門員や地域の介護事業所等との関係機関との連携と支援を行った。 ①いなべ総合病院退院支援委員 5回 ②日下病院退院支援委員会 1回 ③ミーチュアルミーティング 8回 ④介護支援専門員との事例検討 2回 ⑤東員町福祉事業所連絡協議会との意見交換会 2回 ⑥いなべ市包括支援センターとの共同研修会の開催 3回 ⑦介護支援専門員の後方支援 219回 (5)地域ケア会議推進業務 介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、その他関係者により構成される会議を町と協力して開催した。 12回開催(内3回はWeb開催)
④ 包括支援事業（社会保障充実分）	(1)在宅医療・介護連携推進業務 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進した。 ①いなべ在宅医療・介護連携研究会運営委員会 5回 ②いなべ在宅医療・介護連携研究会研修会 2回 ③各職能団体又は類似事業所団体との打ち合わせ会 1回 (2)生活支援体制整備業務 生活支援コーディネーターと連携し、自治会、シニアクラブ、民生委員等と日常生活上の支援及び社会参加の推進に努めた。 ①連携会議の実施 12回

包括支援事業 (社会保障充実分)	(3)認知症施策推進業務 認知症地域推進員と連携を図り、認知症や疑いのある方への受診促進や 周辺症状への対応に対する支援を行った。 ①認知症疾患医療センター・行政・包括支援センター連携会議 10回 ②テーブルミーティング 11回 ③認知症疾患医療センター地域連携会議への参加 2回 ④まめまちカフェ、家族相談会への参加 6回 ⑤認知症 オレンジでの啓発活動に参加 7回
④⑤ 任意事業	(1)福祉用具・住宅改修の理由書作成 9件 (2)ホームケア事業確認書類の作成 13件
④⑥ 指定介護予防 支援事業	(1)介護予防サービス計画件数 74件 (2)介護予防サービス計画の委託請求件数 156件 (3)介護予防サービス計画の連携加算（新規委託） 2件
④⑦ 基幹型業務	(1)両地域包括支援センターの連絡会議 34回開催 (2)町行政と包括支援センターの連絡会議 13回開催
④⑧ その他の業務	(1)「お電話くださいカード」の配布対象を町内の介護サービス事業所や 銀行、店舗などに拡大した。 (2)社会福祉協議会ホームページにて、フレイル予防教室や終活セミナーなど の実施報告などを周知した。 (3)地域包括支援センター通信(広報とういんに掲載を行った) 12回 (4)地域包括支援センターのお知らせ(社会福祉協議会の回覧) 2回 (5)AIフレイル実証事業における訪問、「健康フェア」にて「フレイルチェック ・相談会」を開催した。 (6)イオンモール東員での「手洗いイベント」に参加した。